

## ボランティア・プランナー（平成24年6月29日任命）

No	都道府県	市町村	氏名	所属・役職	主な活動
1	北海道	音更町	西田純一	農業(畑作)	秋まき小麦や馬鈴薯、大豆などを生産。 ドイツなどに赴き、先進的な畑作技術（病虫害防除、生物利用の除草技術）を実践しており、特に有機農産物について、首都圏の消費者グループと連携し、啓発活動を実施。 札幌や首都圏の消費者に対して馬鈴薯の産直活動などにも取り組み、消費者との距離を縮める活動を実施。
2	青森県	田子町	宝田喜美男	(株)たから 代表取締役	田子町職員として、財団法人ガーリックセンターに携わり、地域特産の「ホワイト6片にんにく」による地域活性化や国際交流に取り組む。 また、自らもにんにくの生産・加工・販売を行う(株)たからの代表取締役として活躍。
3	岩手県	奥州市 胆沢区	及川久仁江	農家民泊「馬小屋」女将 農業委員	水稲、施設園芸などの農業に従事。 「わがママ倶楽部」初代表として地域の女性のリーダーとして産直などの地域活性化活動に取り組み、平成19年度「明日の農山漁村を担う女性」の農林水産大臣賞を受賞。
4	岩手県	滝沢村	上野カナエ	エコファーマー 元岩手県農業農村指導士	いわてグリーンツーリズムネットワーク会長として、自らのりんご園を活用したりんご狩り体験や直売所での交流活動などに取り組み、中学生の修学旅行や体験農業の受け入れなどを実施。
5	千葉県	旭市	大松秀雄	大松農場 代表取締役社長	自然循環による鶏卵生産に取り組み、卵の直売所を農場に併設。 農薬や化学肥料に依拠した農業に批判的な立場にあり、「自然の摂理に即した農業生産と、農家が安心して暮らせるシステムの確立が必要」というのが持論。 農林水産省「顔の見える関係づくり懇談会」委員などを歴任。